

5年生 図工

みんなで作るのしく

「ハイ、ポーズ」

ねん土をねじったりひねったりして、動きのある人体を表しましょう。自分のイメージを持って、表したいポーズを考えましょう。

じゅんびするもの

- ・油ねん土
 - ・ねん土板
- (なければ代わりになるもの)

やりかた

- ・大まかにどう体から頭、うで、足をひねり出しましょう。足は実際よりも太めに作り、立たせることを意識しましょう。
- ・図工の教科書 「心をひらいて」の10、11ページを見てみましょう。

気をつけること

- ・初めから細かい部分にこだわらず、全体の体の動きをとらえましょう。
- ・作りながら、体、うでや足の向きをたしかめましょう。



りったい



ねん土



ねん土板



ねん土べら



タオル

みんなでたのしく、 「ハイ、ポーズ」

ねん土だからダイナミックな動きを自由につくることができる。
今にも動き出しそうな人物をつくろう。



学習のめあて



ねじったりひねったりして、
動きのあるポーズをくふうしよう。



動きをとらえ、
表したいポーズを考えよう。



ねん土の手ざわりを味わい、
たのしく表そう。

ねじって
動きを出す



かたまりから
ひねり出す



動きをとらえる
ために、
実際にポーズを
とってみよう。



シュートするわたし (高さ18cm)



逆立ち (高さ21cm)



スピンを決めて! (高さ20cm)



つくり変える前に
写真にとって
残すのもいいね。



「ピッチャーをつかった後に写真を取り、
バターにつくり変えました。」
(高さ22cm)

ねん土は何度でも
つくり変えることが
できるよ。



体そうの特訓だ。がんばれ!
(高さ12~21cm)
「みんなの作品を集めました。」



焼き物にして

うわぐすりをかける

うわぐすりは、ガラス質のもので、表面を保護したり、美しい色やつやを出したりするものです。素焼きにした作品にうわぐすりをかけて、約1,180~1,250℃の温度で、もう一度焼き(本焼き)ます。



水でといて筆でぬったり、直接ひたしたりして、うわぐすりをかける。

ハート型の皿
(高さ2cm/約1,200℃)



えものをねらうワニ
(高さ15cm/約1,200℃)

